



WORLD
HOLDINGS

2021年12月期 決算説明資料

第2四半期

“人が生きるカタチ”の創造

2021年8月17日（火）

株式会社ワールドホールディングス
東証1部(2429)

I. 2021年12月期 第2四半期決算概要

・ 決算サマリー	… P4
・ 業績概況	… P5
・ セグメント別業績概況	… P6
・ 各セグメント詳細	… P7
・ 財政状態 B/S	… P18
・ トピックス	… P20

II. 2021年12月期 業績見通し

・ 2021年12月期 通期業績見通し	… P24
・ 2021年12月期 セグメント別業績見通し	… P25
・ 株主還元	… P26

III. Appendix

・ ワールドホールディングス会社案内	… P27
--------------------	-------



I . 2021年12月期 第2四半期決算概要

決算サマリー

全体サマリー



- 基幹の人材・教育ビジネスが好調に推移しグループ全体を牽引、**売上・利益ともに計画以上に推移**
- 前年同期比では、不動産事業において前上期に大型物件の引渡しがあったため減収減益となるも、不動産事業も本年度の計画上問題なく順調に推移
- 人材・教育ビジネスと不動産ビジネスのグループ間シナジーの創出を図る

各事業サマリー

人材・教育 ビジネス



- 主力のファクトリー事業を中心に計画を大幅に上回る等 **好調に推移**

【好調な要因】

- ✓ 幅広い領域を持つ強みを活かし“シームレス”な領域間の連携による取引幅の拡大
- ✓ 5Gや物流等の注力分野の見定め・戦略的な資本投下が奏功
- ✓ コロナ禍でも「雇用の維持」を最優先にしたことで機動的な対応が可能となった
- ✓ 的確な営業戦略により一部でコロナの特需的要素を取り込んだ

不動産 ビジネス



- 未だ不動産のバブル的状况が続く中、**引き続き慎重な事業展開**
- 市場の反転に備え、資金準備や金融事業の展開等を進める

情報通信 ビジネス



- 携帯電話販売業界が、コロナ禍の影響に加え、総務省からの携帯電話料金値下げ要請に応じた各通信事業者の新プラン導入等により再び大きな変革期

その他



- 再度の緊急事態宣言等の影響で来園者数が伸び悩んだことに加え、旗艦施設である大阪府のハーベストの丘が臨時休園を余儀なくされ大きな打撃

業績概況

- 計画比における、**売上高及び利益面での大幅達成は、好調な人材・教育ビジネスが寄与**
- 前年同期比におけるマイナスは、不動産事業において前上期に大型物件の引渡しがあったため
また、前年の四半期純利益には子会社の売却に伴う税効果の影響を含む

(単位: 百万円)

	2020/2Q 実績	2021/2Q 計画	2021/2Q 実績	計画比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	70,844	63,657	65,047	1,390	2.2%	△5,796	△8.2%
営業利益	2,773	1,302	2,452	1,149	88.2%	△321	△11.6%
経常利益	2,872	1,283	2,621	1,338	104.3%	△251	△8.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,497	886	1,891	1,004	113.3%	△605	△24.3%

セグメント別業績概況

(単位：百万円)			2020/2Q 実績	2021/2Q 計画	2021/2Q 実績	計画比		前年同期比	
						増減額	増減率	増減額	増減率
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	25,111 957 (3.8%)	30,914 1,229 (4.0%)	33,102 1,662 (5.0%)	2,187 433 35.2%	7.1%	7,991 705	31.8% 73.7%
	テクノ事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	8,353 886 (10.6%)	8,481 624 (7.4%)	8,538 954 (11.2%)	57 330 52.9%	0.7%	184 67	2.2% 7.6%
	R & D 事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	3,515 381 (10.8%)	3,759 331 (8.8%)	3,915 447 (11.4%)	155 115 34.9%	4.1%	399 65	11.4% 17.3%
	セールス&マーケティング事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	1,941 3 (0.2%)	2,010 △78 —	2,445 △27 —	435 51 —	21.6%	503 △30	25.9% —
	計 (参考)	売上高 セグメント利益 (利益率)	38,922 2,228 (5.7%)	45,166 2,106 (4.7%)	48,002 3,036 (6.3%)	2,835 930 44.2%	6.3%	9,079 807	23.3% 36.3%
不動産ビジネス	不動産事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	25,541 1,835 (7.2%)	11,669 98 (0.8%)	10,481 400 (3.8%)	△1,187 302 308.2%	△10.2%	△15,060 △1,435	△59.0% △78.2%
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	5,252 275 (5.2%)	4,734 200 (4.2%)	4,944 93 (1.9%)	210 △106 △53.2%	4.4%	△308 △181	△5.9% △65.9%
その他の	その他の事業	売上高 セグメント利益 (利益率)	1,126 △369 —	2,087 100 (4.8%)	1,619 △83 —	△468 △183 —	△22.4%	492 286	43.7% —
合 計		売上高 消去又は全社 営業利益 (利益率)	70,844 △1,196 2,773 (3.9%)	63,657 △1,202 1,302 (2.0%)	65,047 △994 2,452 (3.8%)	1,390 207 1,149 88.2%	2.2%	△5,796 201 △321	△8.2% — △11.6%

シームレスな連携強化

ものづくり分野では川上から川下まで「ファクトリー」「テクノ」「R&D」にわたる幅広い領域をカバーし、加えて「セールス&マーケティング」までシームレスに連携。シナジー強化を図り、クライアントに対する横断的なアプローチを可能に。

請負化の推進

個別の人材派遣に留まらずチーム派遣、請負受託を推進。それにより、技能の蓄積や人材育成、さらには経済環境に左右されにくい安定性向上、生産性アップによる収益力強化を図る。特に物流分野では請負体制及びコンソーシアム体制の完成形へ。

人材育成

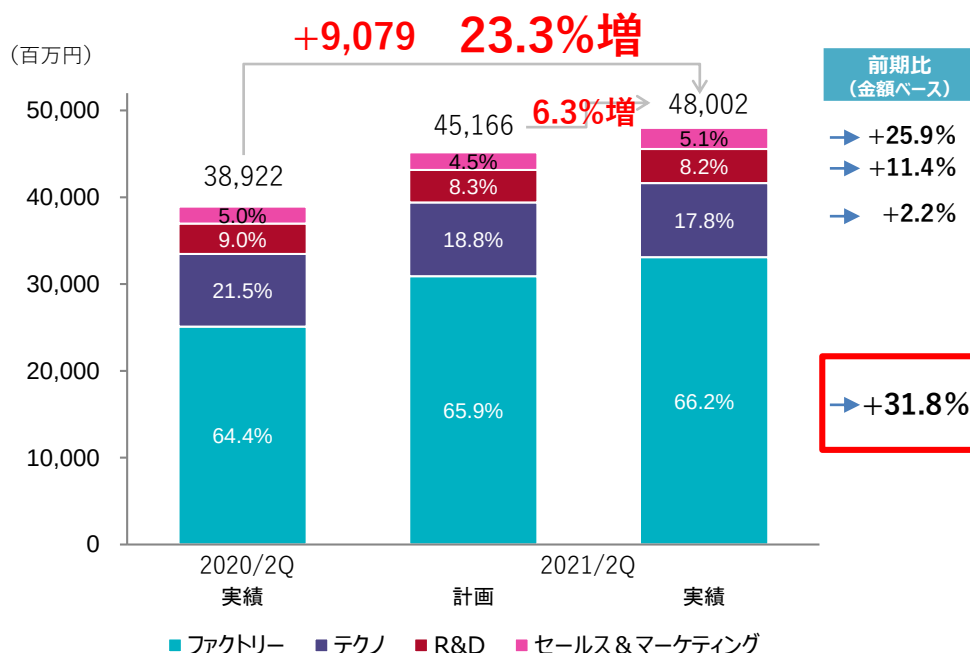
人材育成によりクライアントの多様なニーズに対応するとともに、マネジメント層の育成を進めることで、より高度な請負体制の拡大を可能に。その一方で、働く社員にとってはスキルアップ・キャリアアップを実現し「集まる力」のある魅力ある企業へ。

コロナ禍のような未曾有の困難の中でも安定した業績拡大に寄与

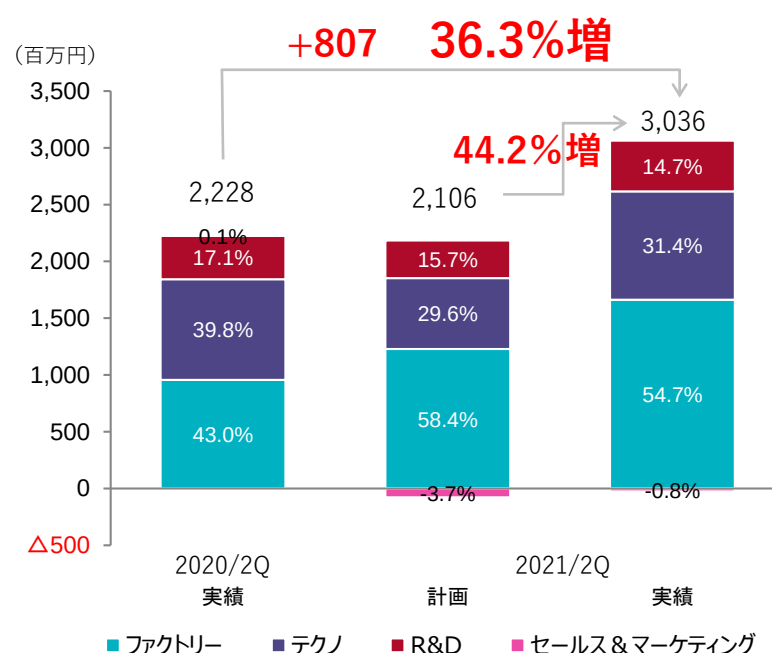
人材セグメントの売上高・セグメント利益の事業別構成比

- 主力のファクトリー事業が大幅に伸長し全体を牽引、**前期比・計画比共に大きく上振れ**
- 複数領域をカバーする強みを活かしたシームレスな領域間連携によって差異化を図る
- 的確な営業戦略により、コロナ対策特需的要素等も取り込み業績の底上げに寄与

◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益 構成比

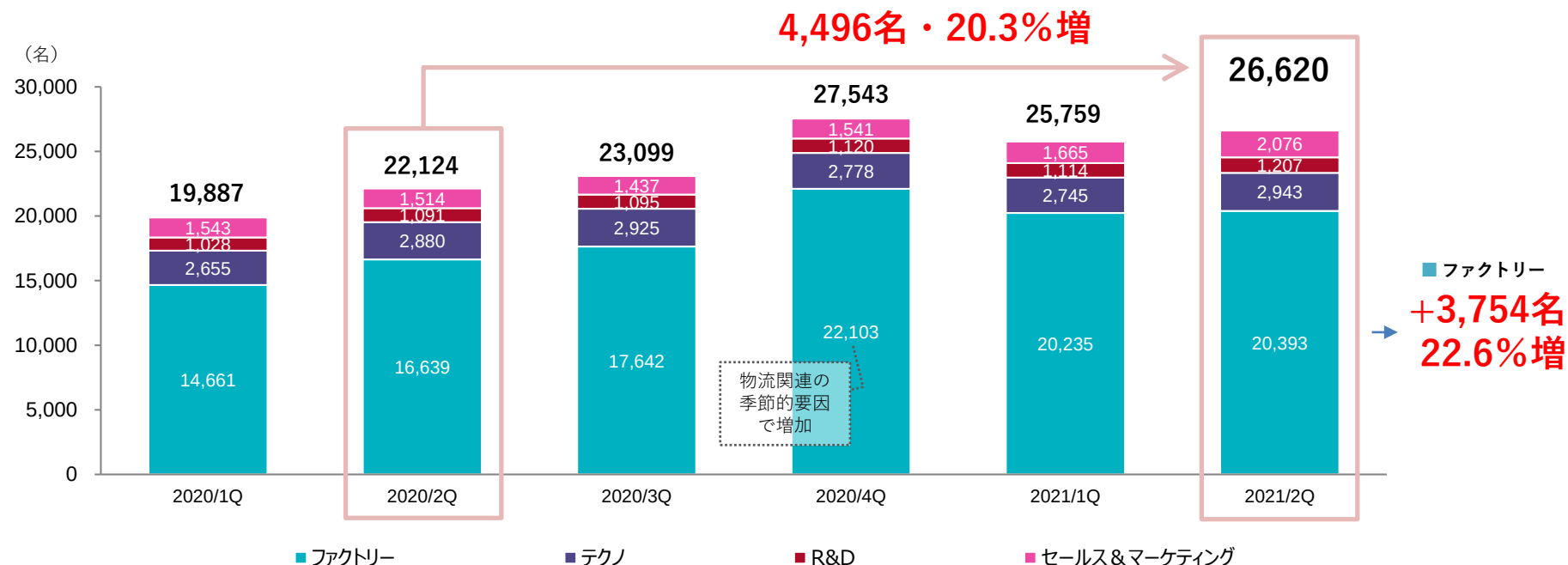


人材セグメント全体の在籍数の推移

主力のファクトリー事業が大幅増員

- 物流分野での新拠点開拓等により在籍数が大幅に増加
- 5 G 関連が好調で半導体・機械分野での在籍数も増加

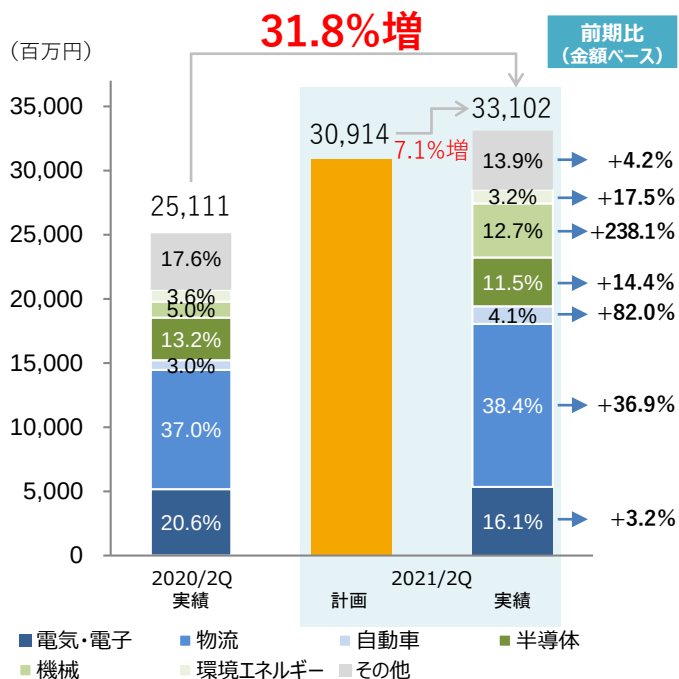
◆在籍数※（3ヶ月平均）の推移



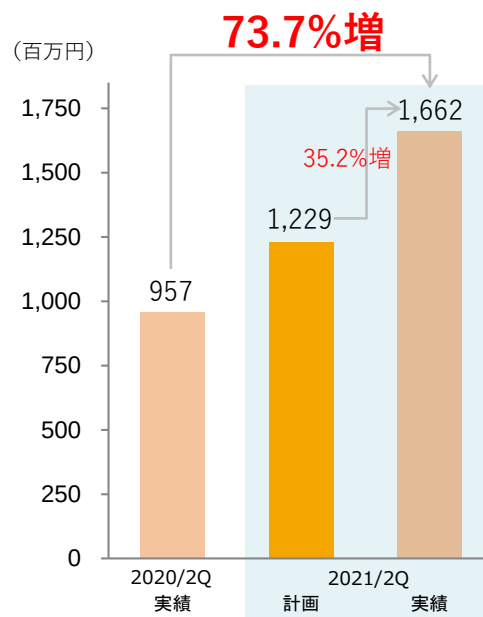
※ ファクトリーの在籍者数については他社受入の外部人員を含む

- 5G関連需要や自動車関連の復調により、主力の半導体や半導体製造装置等の分野が総じて好調で**大幅に増収増益**
- 物流分野は昨年の新拠点開拓により底上げ
- コロナショック下においても雇用の維持を最優先に育成体制を継続したことで現場力向上、加えて各種請負現場での生産量も拡大

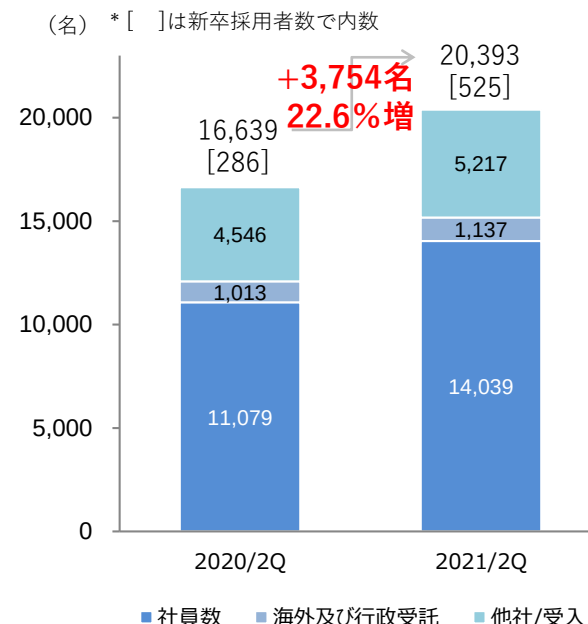
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)

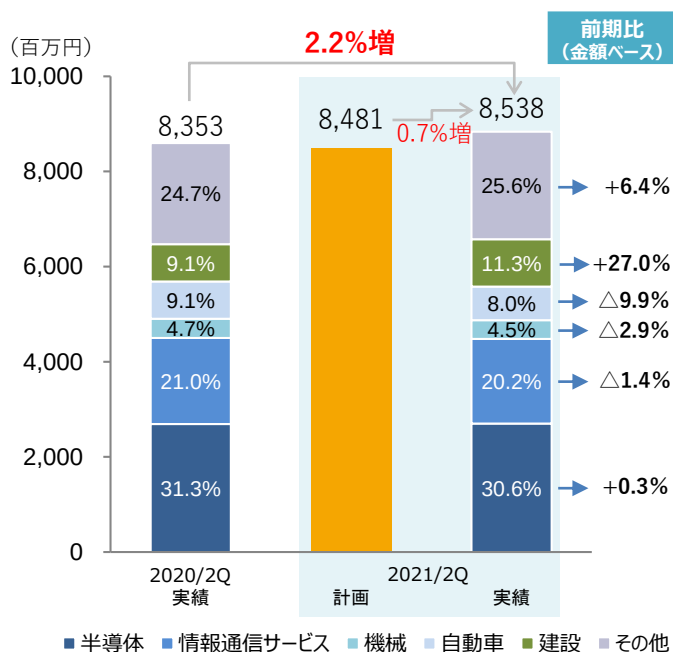


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

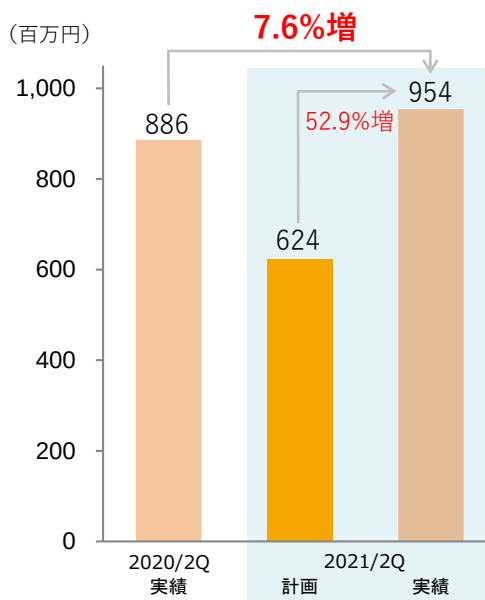
※在籍は3か月平均 他社受入の外部人員を含む
※在籍数は現業社員のみ

- コロナショック後、全分野とも回復基調にある中、ファクトリー事業とのシームレスな連携で半導体分野の成長にも繋げる
- 採用手法の見直しに加え、エンジニアの人材育成によるスキルアップ・キャリアアップを進め、より質の高い技術力の提供を図る

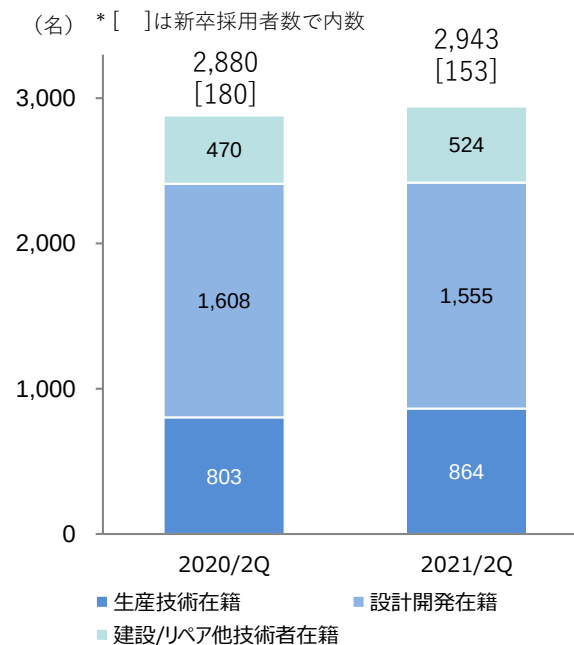
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)

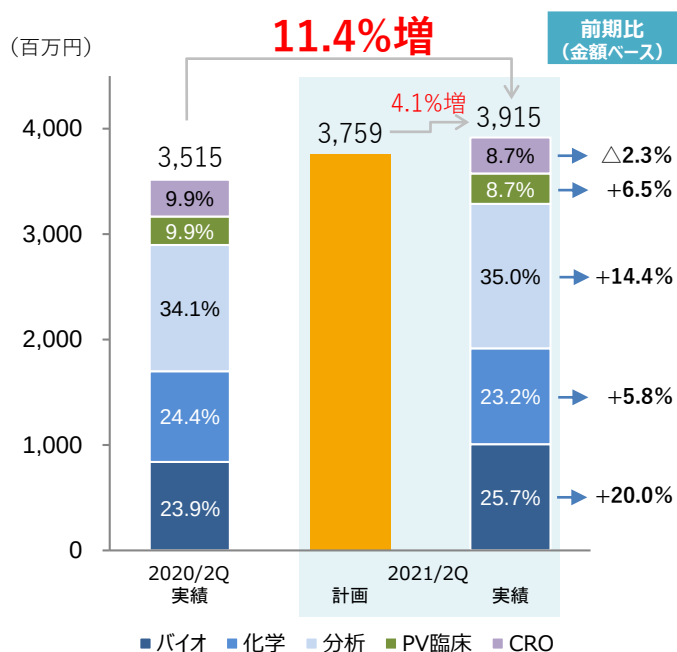


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

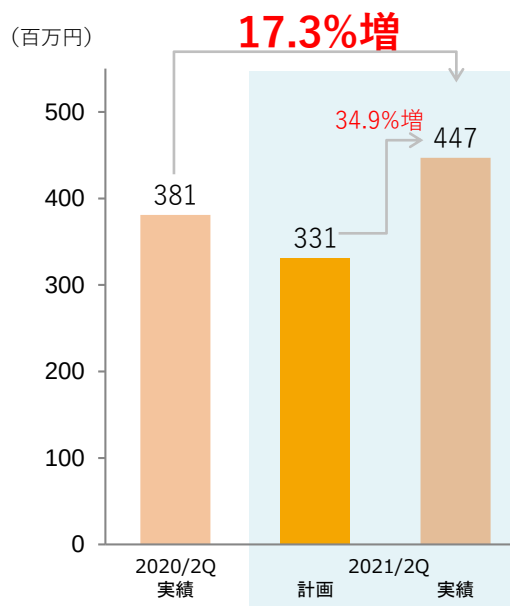
※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のみの数字

- 研究者派遣部門は医薬関連のバイオ・化学・分析等各分野とも好調で増収増益
- PCR検査関連・ワクチン関連等のコロナ特需的要素も取り込む
- クライアントのよりコアな業務への技術提供や、新たな取引分野の拡張も図り、次期でのさらなる拡大の準備を推進

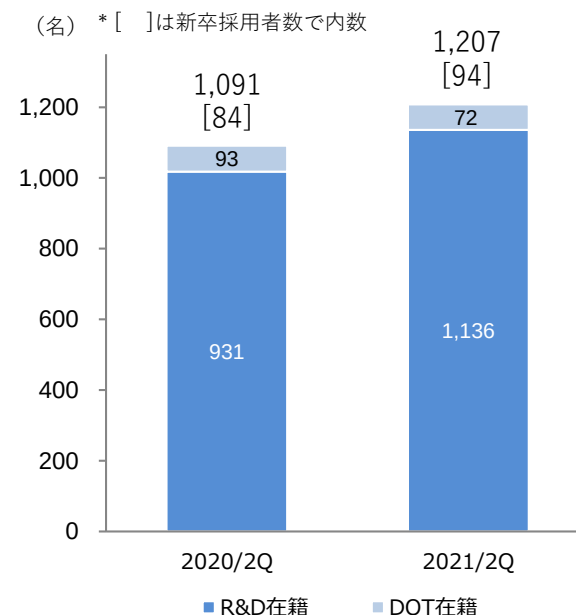
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)

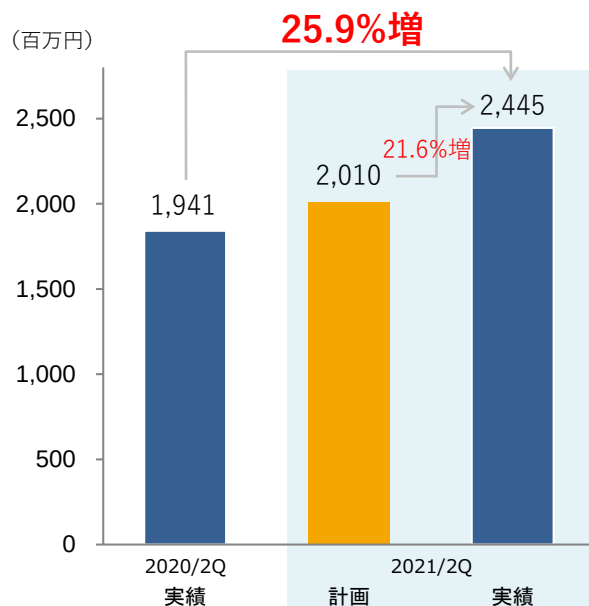


※ 計画は業種ごとに開示しておりません

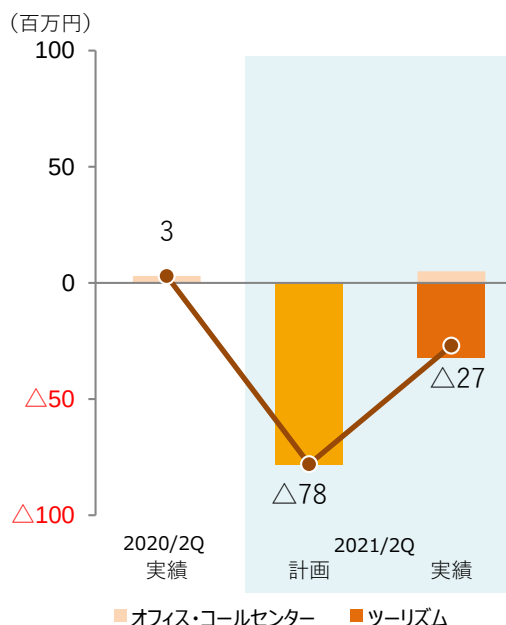
※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のための数字

- ツーリズム関連のコロナ影響は残るものの、既存のオフィス・コールセンター分野を確実に伸長させたことに加え、コロナ関連及びオリンピック関連の特需的要素も取込む
- 新たにコールセンターの設置や、軽作業関連での請負化推進、店舗の販売代行業務請負化など、業容拡大を図る

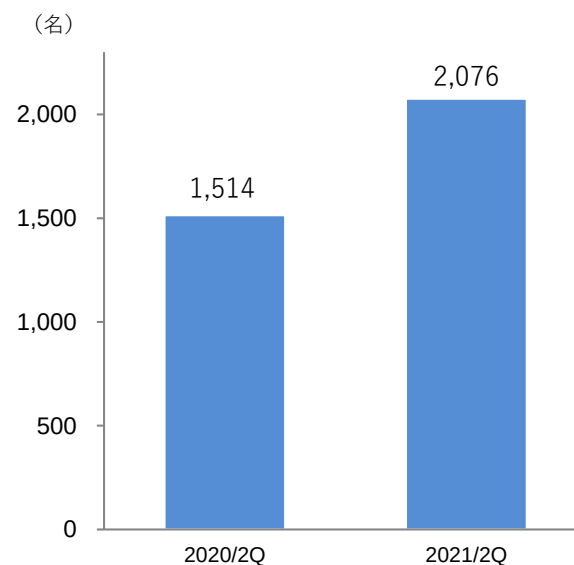
◆ 売上高 構成比



◆ セグメント利益



◆ 在籍数の推移 (3ヶ月平均)



※在籍は3か月平均
※在籍数は現業社員のための数字

M&Aに関する方向性と自力成長の軌跡

単なる規模拡大のための
M&Aは行わず
自力成長が基本



今後の
成長戦略に
必要な部分
のみM&A

M&A

ソフトウェア受託開発



西肥情報サービス株式会社

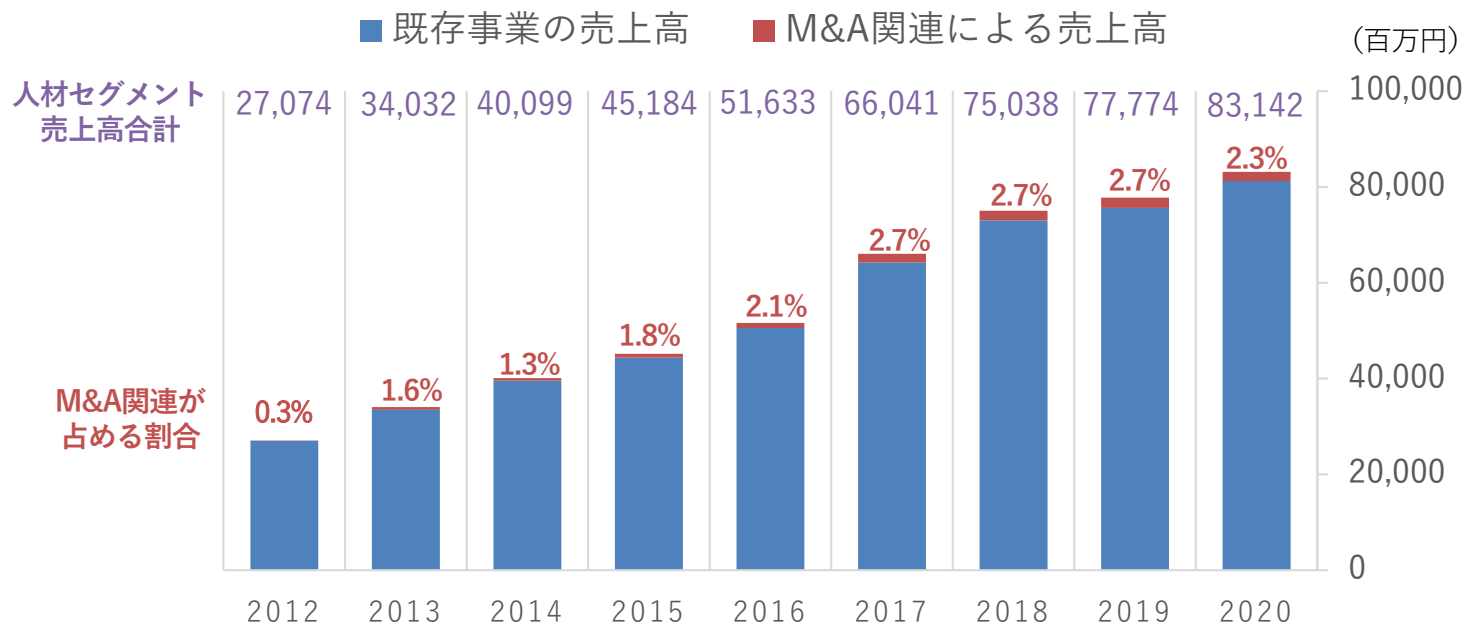


株式会社クリエーション・ビュー

採用マッチングアプリの開発運営

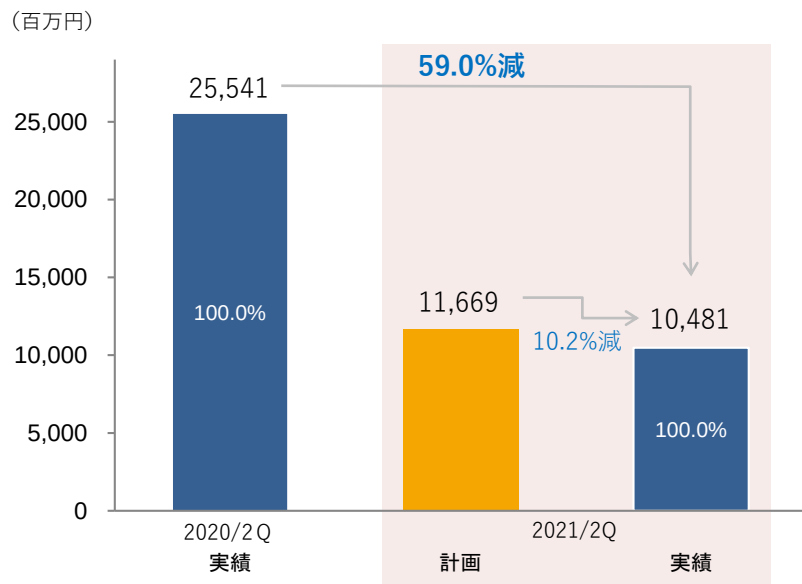


Wakrak株式会社

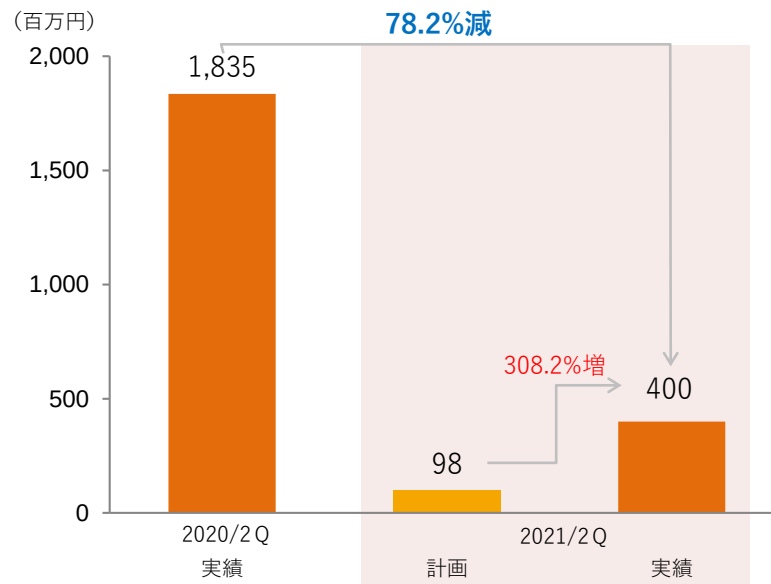


- 昨年の上半期に大型物件の引渡しがあったため前期比では減収減益となるも、本年度は第4四半期に案件が集中する計画となっており、対計画上は順調に推移
- 物件価格の高止まり状況が続く中、慎重な事業展開
- 東急不動産及び当社人材・教育ビジネスとの連携で新たなシナジーの創出

◆ 売上高 構成比

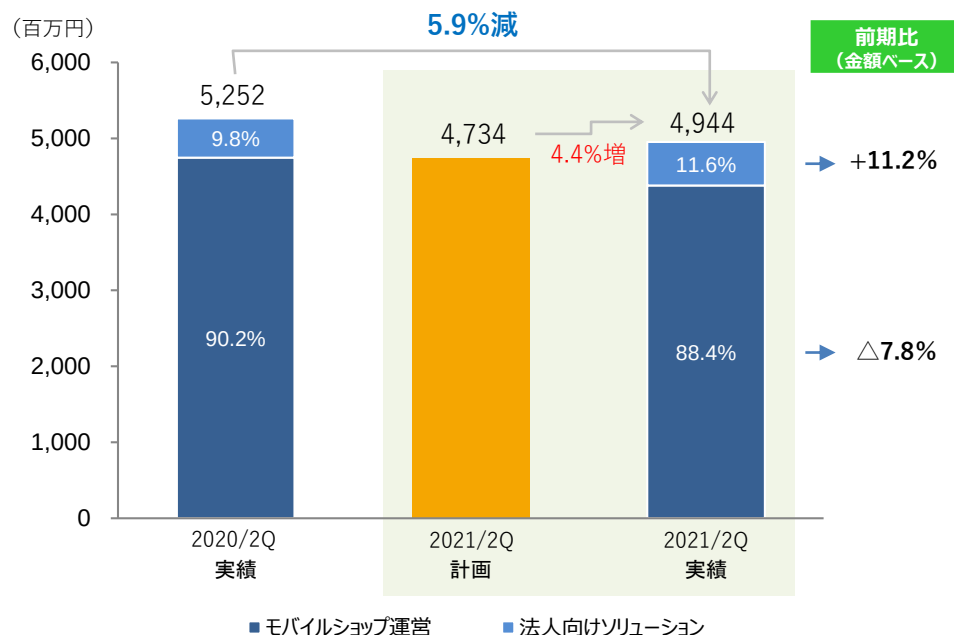


◆ セグメント利益

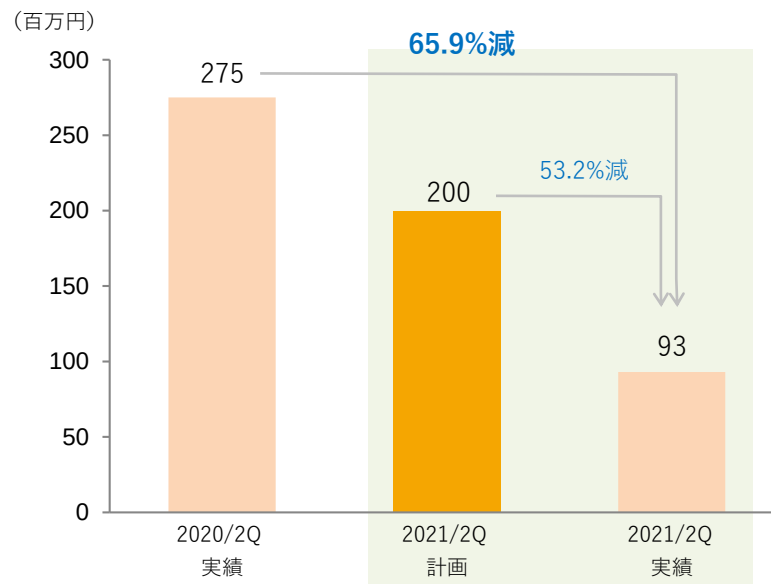


- 各通信事業者のオンライン専用新プラン導入等により、業界が再び大きな変革期を迎える
- 優良店舗網構築のためのスクラップ＆ビルドや、販売促進施策の実施、人材育成等に先行投資を行ったため、一時的に大幅な減益
- 引き続きドミナント化を進め、残存者メリット享受に向けた施策を推進

◆ 売上高 構成比



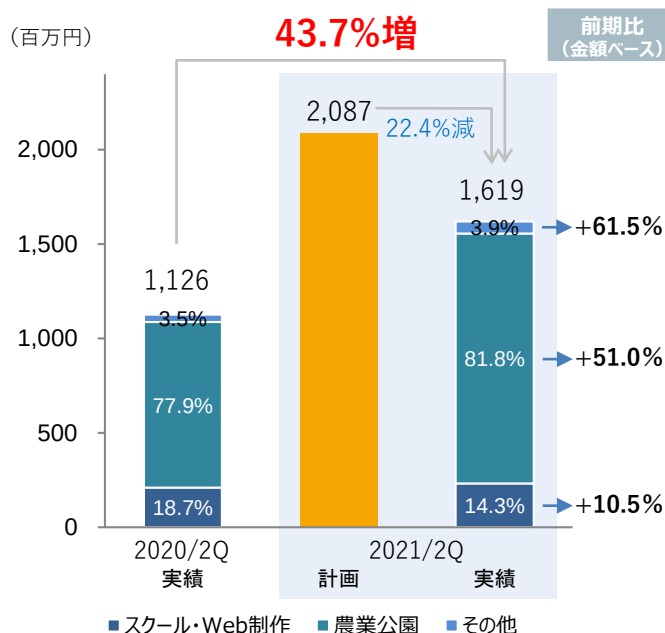
◆ セグメント利益



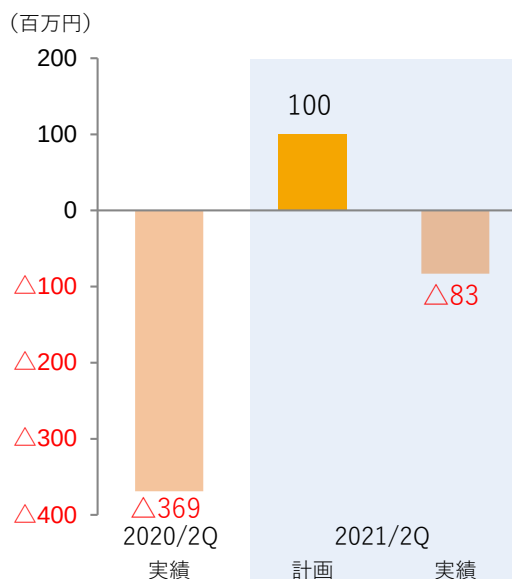
※ 計画は仕向け別に開示しておりません

- 農業公園運営において、緊急事態宣言等による外出自粛に加え、旗艦施設である大阪府の「堺・緑のミュージアム ハーベストの丘」が臨時休園を余儀なくされ大きな痛手
- 本来「密」にならない屋外施設であるという社会的認知と、その強みを活かした適切な誘引施策で地域に必要な憩いの施設としてのプレゼンス向上を図る

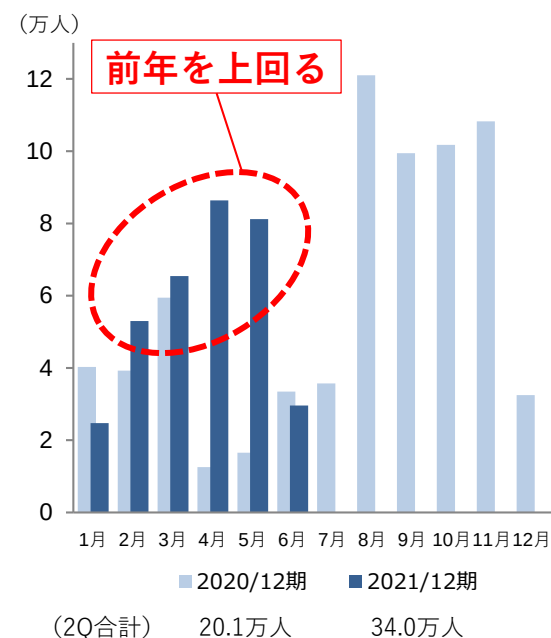
◆売上高 構成比



◆セグメント利益



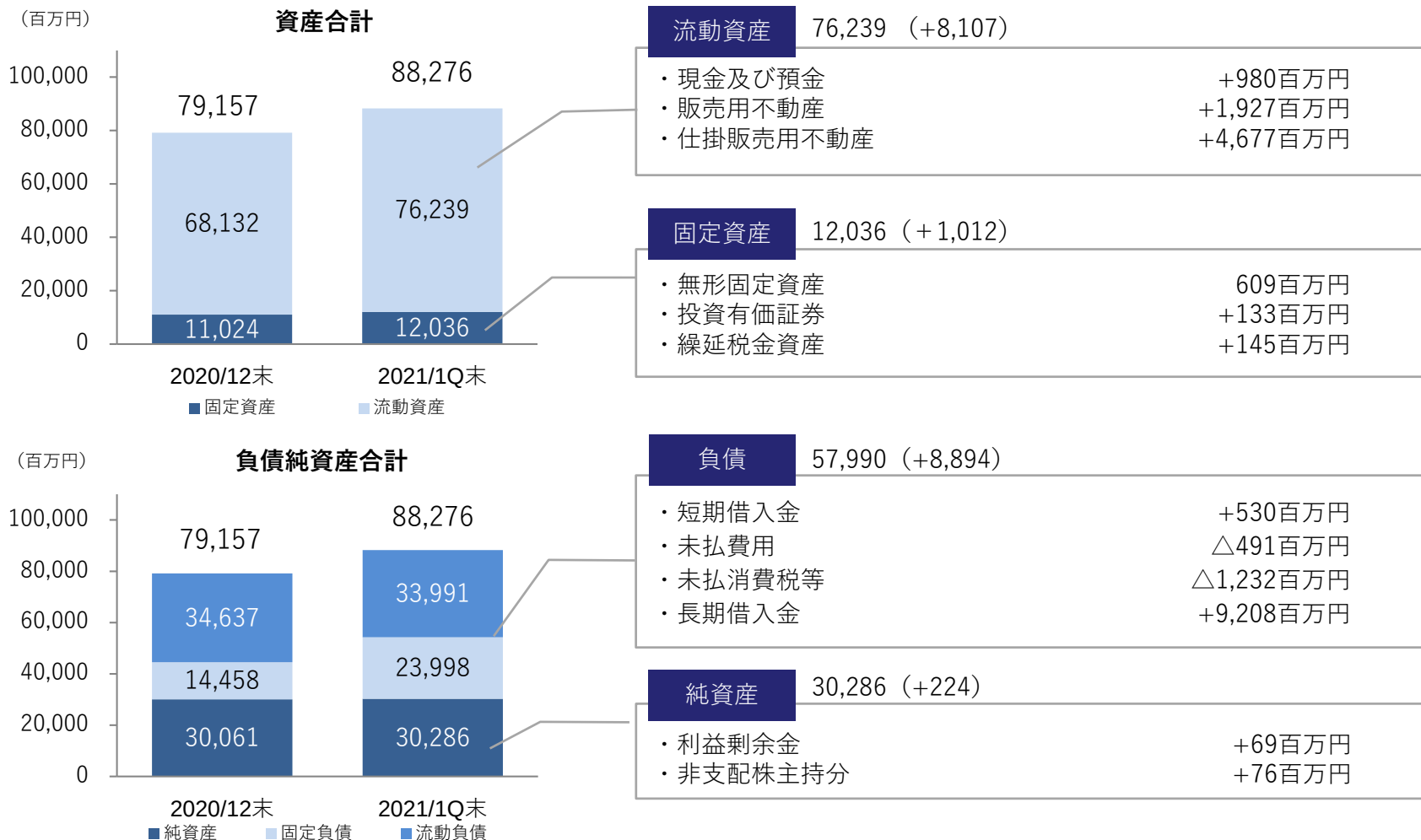
◆月次入園者数



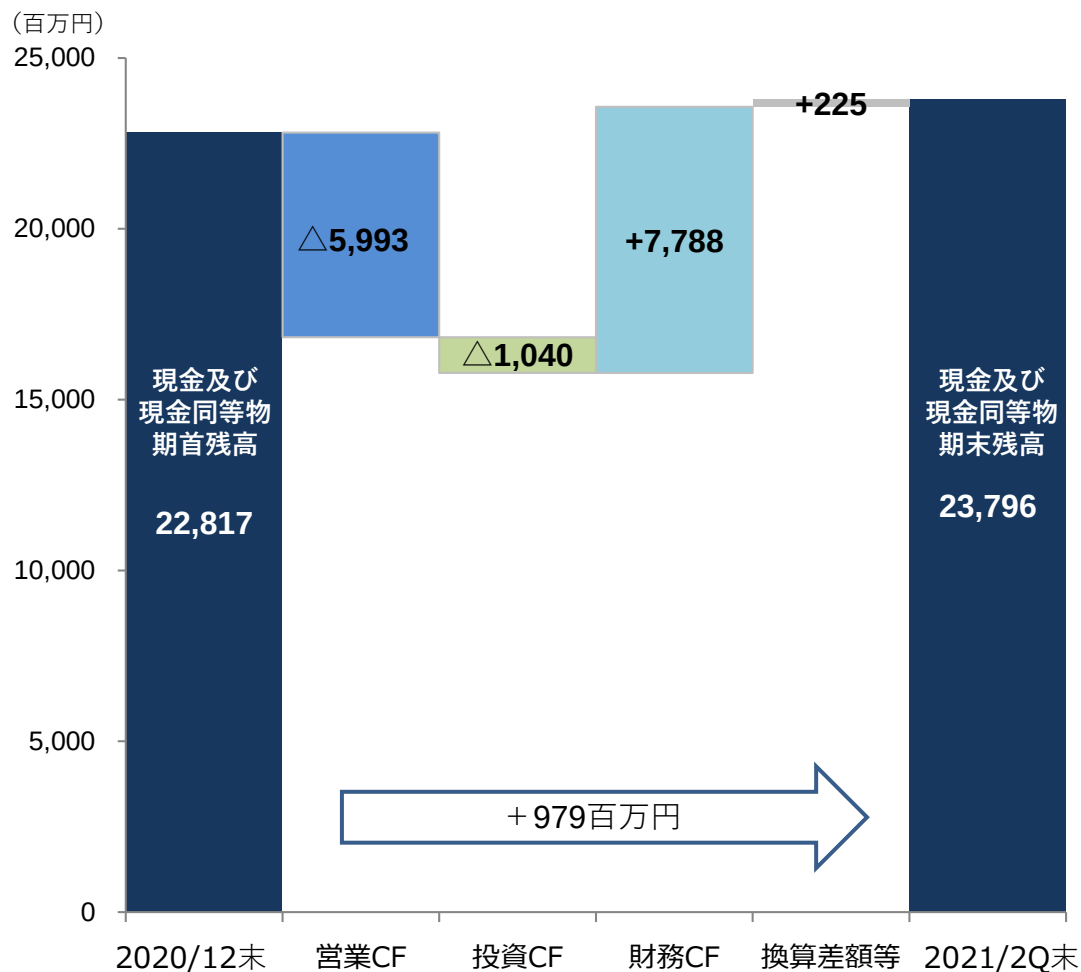
※ 計画は業種ごとに開示しておりません

財政状態 B/S

- 慎重に展開しながらも収益性を見込める不動産物件の仕入れを進めたことで総資産は増加



キャッシュフロー



営業CF

・税金等調整前四半期純利益	2,664百万円
・販売用不動産の増加額	△6,612百万円
・未払消費税等の減少額	△1,433百万円
・法人税等の支払額	△1,134百万円
・法人税等の還付額	910百万円

投資CF

・有形固定資産の取得による支出	△285百万円
・新規連結子会社の取得による支出	△353百万円
・非連結子会社株式の取得による支出	△104百万円

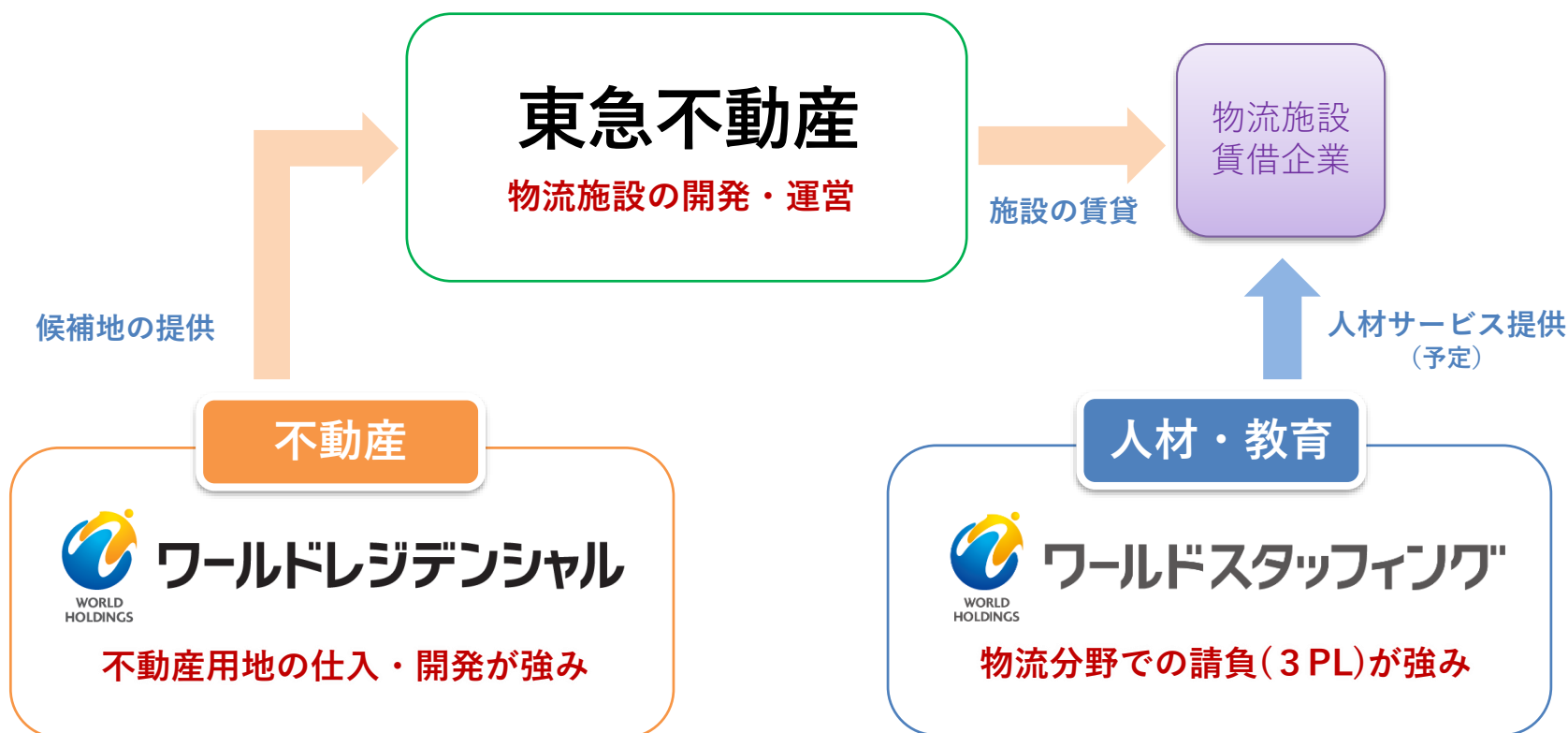
財務CF

・短期借入金の純増加額	1,457百万円
・長期借入れによる収入	10,102百万円
・長期借入金の返済による支出	△1,962百万円
・配当金の支払額	△1,775百万円

トピックス ① グループシナジーの創出

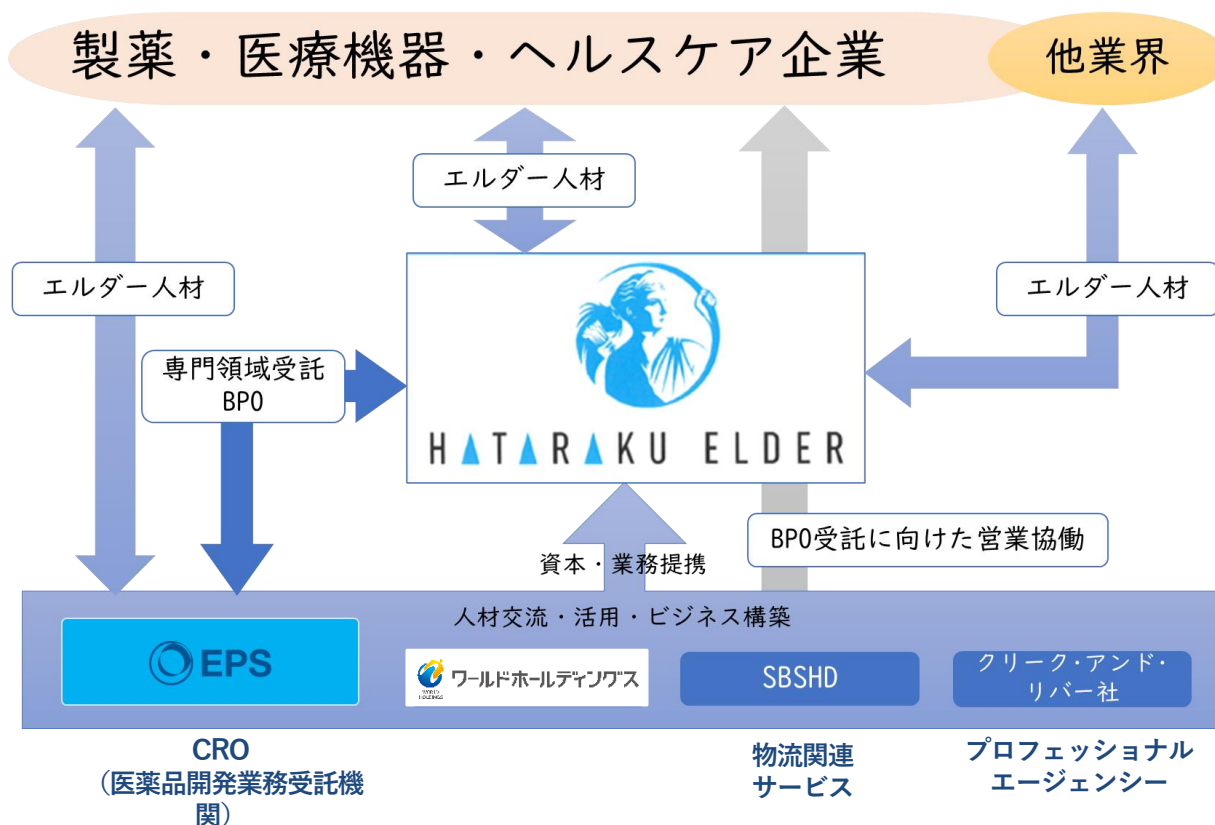
これまでそれぞれ事業展開を行ってきた
不動産ビジネスと人材・教育ビジネスのシナジー創出

東急不動産とワールドレジデンシャル・ワールドスタッフィング三社による包括業務提携



トピックス ② エルダー人材の働き方の多様性を企画・実現

EPSホールディングス、SBSホールディングス、クリーク・アンド・リバー社と
共同出資会社『HATARAKUエルダー株式会社』 設立



【出資比率】

EPS ホールディングス 51.7%
ワールドホールディングス 16.7%
SBS ホールディングス 16.7%
クリーク・アンド・リバー社 3.3%
他 11.7%

製薬会社や医療機器開発会社等を中心に、敬意を払う対象・指導的立場の先輩であるエルダー人材の需要を掘り起こし、BPOや人材サービスと組み合わせて提案し、**エルダー人材が働ける職場・ステージを準備・開発する事業モデルを推進**してまいります。

トピックス ③ 「しんきん事業承継コンソーシアム」への参画

コロナ禍により噴出する事業承継問題に対するソリューションとして形成されている「しんきん事業承継コンソーシアム」にワールドインテックが参画



ワールドインテックが「ものづくり」を中心とした人材サービス提供ノウハウを活かし、製造業を中心とした企業に向けて『後継者人材の紹介・経営幹部人材の紹介』『後継者育成・教育支援、及び組織内人材育成支援』等を実施



Ⅱ. 2021年12月期 業績見通し

2021年12月期 通期業績見通し

コロナ再拡大により先行き不透明な状況にあることから、業績予想は変更しておりません

- 新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念され、先行きの不透明感が強まる中
増収 営業利益の増益を見込む
- 前期に営業外収益に計上した新型コロナ関連の助成金を今期見通しには含まず
- 前期の親会社株主に帰属する当期純利益には、子会社の売却や合併に伴い繰延税金資産を見直したことによる影響を含む

単位：百万円、%	2020 通期 実績	2021 通期 計画	2021 上期		2021 通期 見通し	前期比	
			計画	実績		増減額	増減率
売上高	143,571	150,194	63,657	65,047	150,194	6,623	4.6%
営業利益	6,251	6,465	1,302	2,452	6,465	214	3.4%
経常利益	6,786	6,388	1,283	2,621	6,388	△397	△5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,913	4,573	886	1,891	4,573	△1,340	△22.7%
一株当たり利益（円）	341.35	262.02	-	-	262.02	△79.33	△23.2%
一株当たり配当金（円）	101.7	78.7	-	-	78.7	△23.0	△22.6%

セグメント別 通期業績見通し

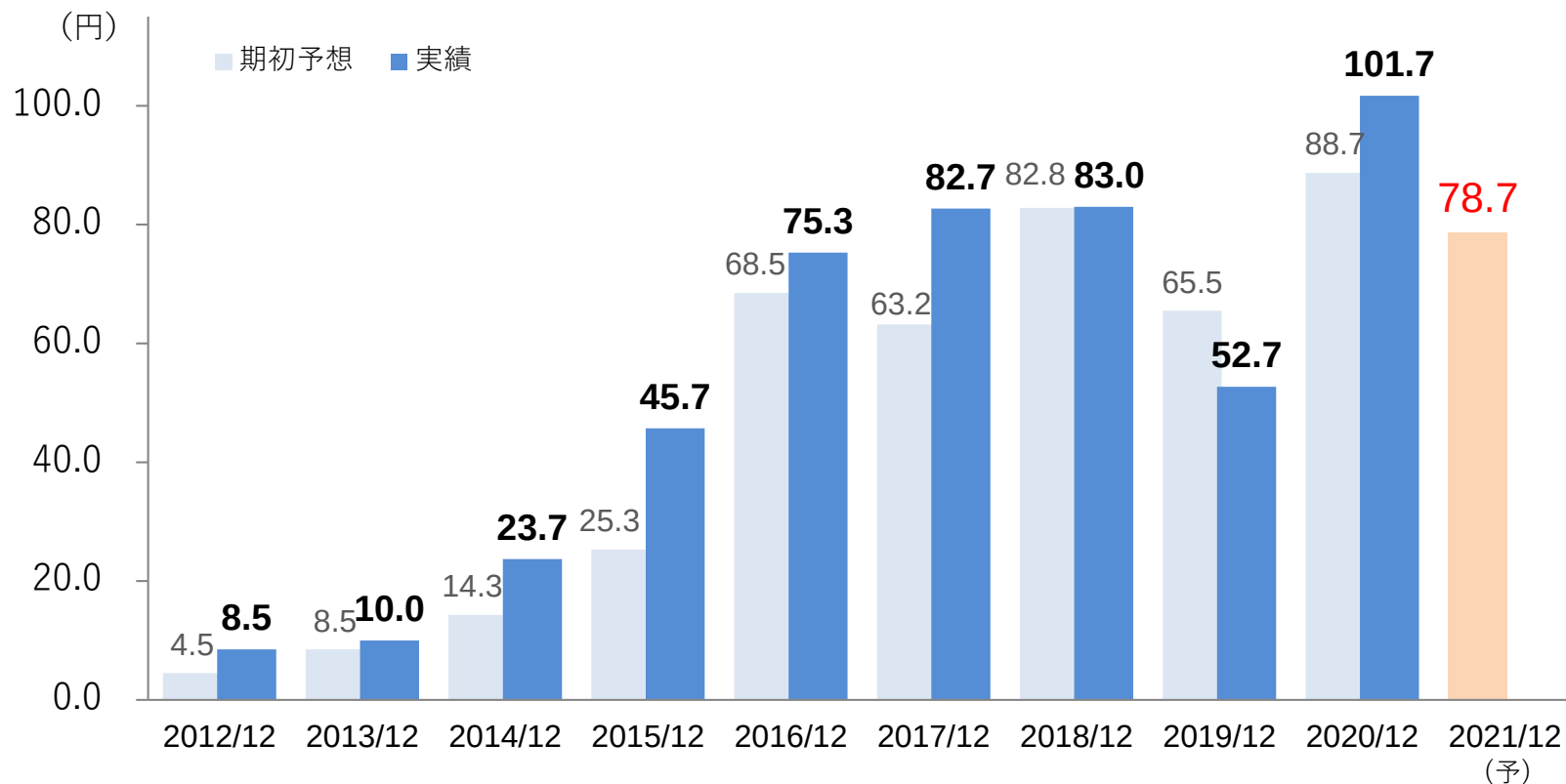
コロナ再拡大により先行き不透明な状況にあることから、業績予想は変更していません

- 基幹の人材・教育ビジネスは、複数業種のポートフォリオ力と成長領域への注力により堅実に伸長（特にファクトリー事業が伸長）
- 不動産ビジネスは、市況が読みにくい中、慎重な姿勢を継続し次の投資機会をうかがう

(単位：百万円)			2020通期 実績 (利益率)		2021通期 計画 (利益率)		前期比	
							増減額	増減率
人 材 ・ 教 育 ビ ジ ネ ス	フ ァ ク ト リ ー 事 業	売 上 高	55,102		65,964		10,861	19.7%
		セグメント利益	2,632	(4.8%)	3,476	(5.3%)	843	32.0%
	テ ク ノ 事 業	売 上 高	17,003		18,135		1,132	6.7%
		セグメント利益	2,019	(11.9%)	1,908	(10.5%)	△110	△5.5%
	R & D 事 業	売 上 高	7,200		7,876		675	9.4%
		セグメント利益	843	(11.7%)	849	(10.8%)	5	0.6%
	セ ー ル ス & マ ー ケ テ ィ ン グ 事 業	売 上 高	3,835		4,849		1,013	26.4%
		セグメント利益	18	(0.5%)	△23	(—)	△42	(—)
計 (参 考)		売 上 高	83,142		96,825		13,683	16.5%
		セグメント利益	5,515	(6.6%)	6,210	(6.4%)	695	12.6%
不 動 産 ビ ジ ネ ス	不 動 産 事 業	売 上 高	48,081		40,363		△7,717	△16.1%
		セグメント利益	3,550	(7.4%)	2,167	(5.4%)	△1,382	△38.9%
情 報 通 信 ビ ジ ネ ス	情 報 通 信 事 業	売 上 高	9,133		8,769		△364	△4.0%
		セグメント利益	240	(2.6%)	190	(2.2%)	△50	△20.8%
そ の 他	そ の 他 事 業	売 上 高	3,214		4,236		1,022	31.8%
		セグメント利益	△200	(—)	170	(4.0%)	370	(—)
合 計		売 上 高	143,571		150,194		6,623	4.6%
		消去又は全社	△2,854		△2,274		(—)	(—)
		営 業 利 益	6,251	(4.4%)	6,465	(4.3%)	214	3.4%

配当性向30%を目安とし、安定的かつ継続的な配当成長を目指す

一株当たり配当金の推移



※業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

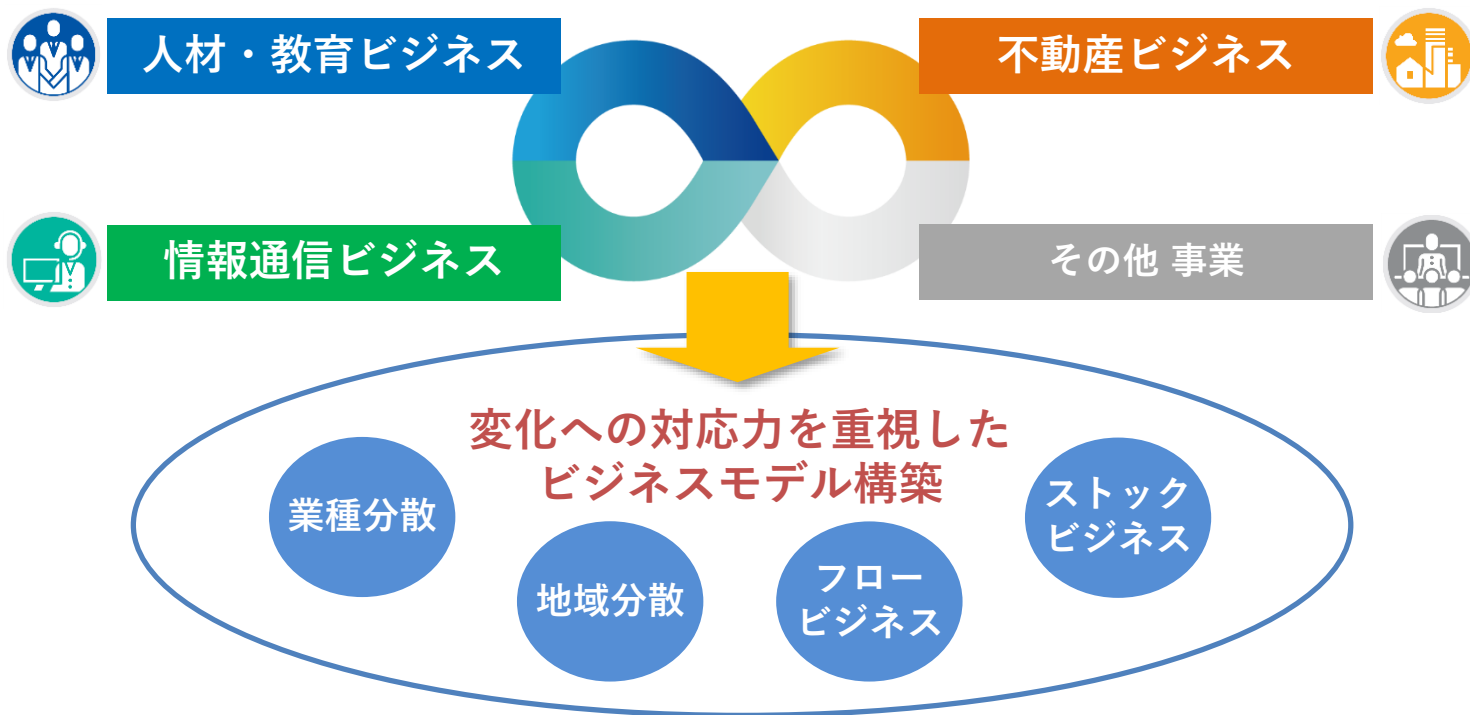


Ⅲ. Appendix

ワールドホールディングス会社案内

成長戦略の全体像

複数事業・複数業種に展開し バランスのとれた安定経営基盤を構築



新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念され 先行き不透明感が強まる中

時流の変化を見定め、市場ニーズを的確に捉え成長を図る

これまでの規模拡大のためのM&Aは行わず 新規事業開拓のためのM&Aや企業再生を主に実施

青字：人材・教育ビジネス

緑字：情報通信ビジネス

橙字：不動産ビジネス

設立

株式上場

(JASDAQ)

純粋持株会社へ

東証1部

2016

1981 1993 2003 2005 2010 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021

人材・教育ビジネス

情報通信ビジネス

不動産ビジネス

みくに産業（現ミクニ）創業

ワールドインテック設立

ファクトリー事業

テクノ事業

R&D事業

S&M事業

台湾英特科設立

台湾

イーサポート子会社化

ワールドレジデンシャル設立（関東圏）

ワールドアイシティ設立（東北圏）

DOTワールド子会社化【CRO】

ワールドウィステリアホームズ設立（関西圏）

ワールドホールディングスに商号変更

ミクニ子会社化【リノベーション】

エングマインテック設立

中国

ワールドデベロップメントインドネシア設立

インドネシア

ファーム子会社化【農業公園】

西肥情報サービス子会社化【ソフトウェア】

ワールドインテックアメリカ設立

アメリカ

JTBグループと共同出資で

JWソリューション設立【ツーリズム関連】

ワールドアセットマネジメント子会社化【金融】

みらい債権回収子会社化【金融】

ワールドキャピタルソリューション設立【金融】

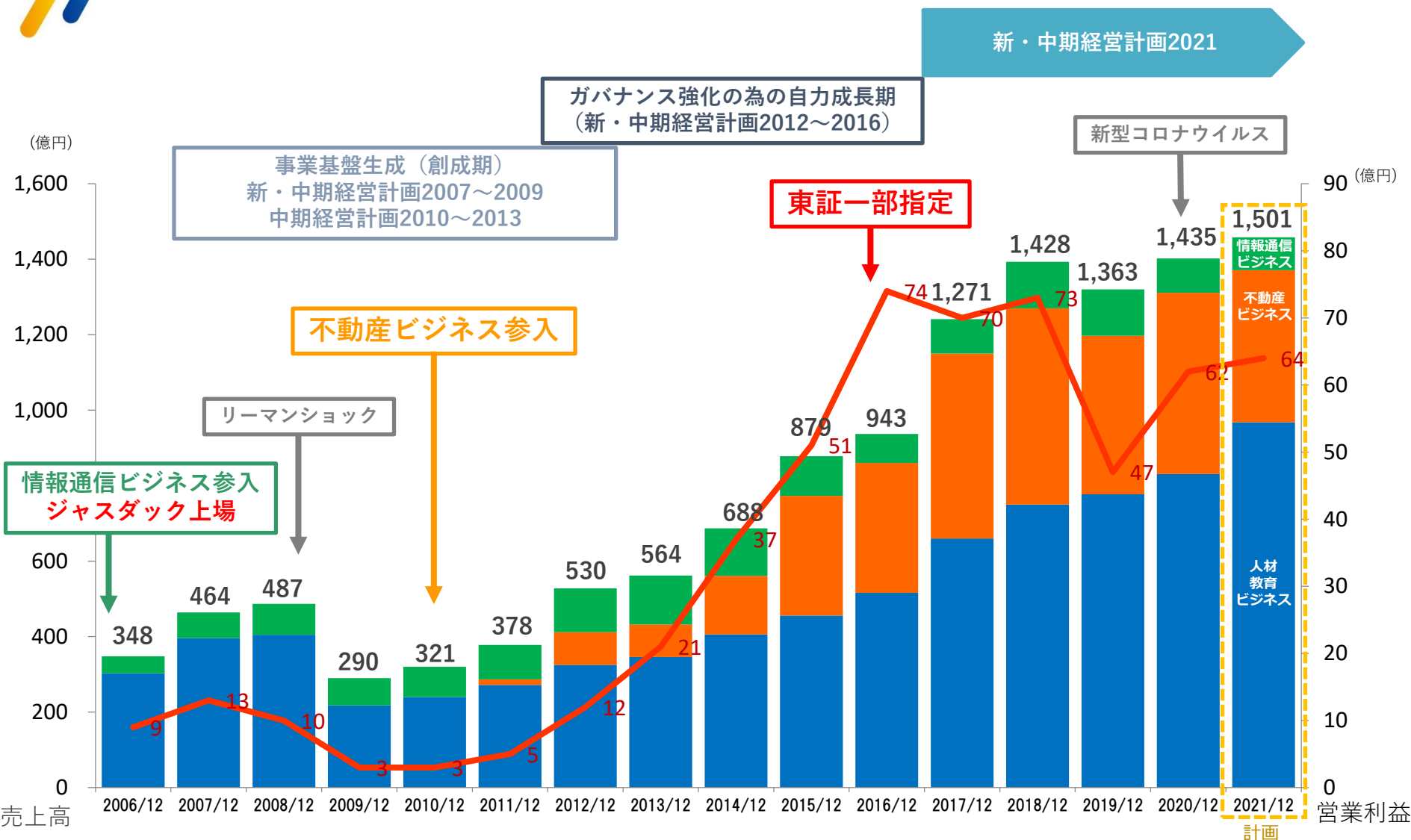
東邦チタニウムと共同出資で

TOH WORLD設立【素材関連】

ワクラク子会社化【アプリ開発運営】

クリエイションビュー子会社化【ソフトウェア】

業績推移



主な関係会社

人材・教育ビジネス

人と仕事をつなぐ
～新しい“働く”カタチ～

-  ワールドインテック
-  ワールドスタッフインヴ"
-  ワールドコンストラクション
-  ワールドネクスト
-  DOT ワールド
-  JW ソリューション
-  TOHOWORLD
-  台湾英特科
-  WORLD INTEC AMERICA
-  EngmaIntec
-  九州地理情報株式会社
-  NIKKIEN TECHNO CO. LTD.
-  SAINS
-  CreationViewCo.,Ltd.
-  Wakrak



情報通信ビジネス

ITで人と人をつなぐ
～新しい“コミュニケーション”のカタチ～

-  E-SUPPORT
-  NETWORK SOLUTIONS
-  ベストITビジネス

その他 事業

-  株式会社 クラウドイット
-  Advan 株式会社アドバン

主な関係会社：39社
 < 連結子会社34社・非連結子会社5社 >

不動産ビジネス

人と住まいをつなぐ
～新しい“まちづくり”のカタチ～

-  ワールドレジデンシャル
-  ワールドアイシティ
-  ワールドウイステリアホームズ
-  ニチモリアルエステート
-  コンパックス
-  WORLD DEVELOPMENT INDONESIA
-  MIKUNI
-  ワールドミクニ
-  エムズワールド
-  オオマチワールド

金融関連

-  ワールドアセットマネジメント
-  ワールドキャピタルソリューション
- みらい債権回収

138拠点

- ・ 国内 128拠点
- ・ 海外 10拠点（中国、台湾、インドネシア、フランス、アメリカ）



人材・教育セグメントのビジネス領域

ものづくりを中心とした幅広い領域をシームレスにカバーした請負・派遣



医薬・バイオ

研究・開発

R&D

機械・システム

設計・開発

テクノ

半導体・製造装置

製造

ファクトリー

ロジスティクス

物流

ファクトリー

リペア

アフター
サービス

テクノ

販売・軽作業 等

サービス

セールス&マーケティング

顧客にとっては
あらゆる分野の業務も
1社で対応できる
ニーズ対応力

Value

働く側にとっては
入社の間口が広い、スキルアップ、
キャリアアップの方向性が豊富
広がる可能性

R&D事業

医薬/バイオ/化学/CRO

研究員

約1,200名

テクノ事業

機械設計 / システム開発

エンジニア

約2,900名

ファクトリー事業

製造 / 物流

オペレーター

約20,400名

セールス& マーケティング事業

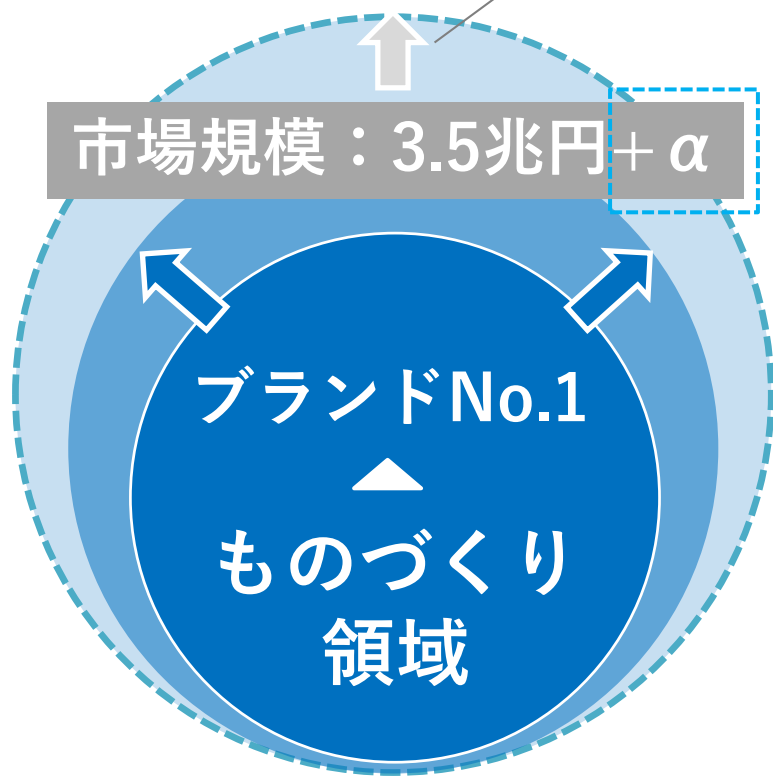
販売員 / 軽作業員

コールセンター 等

約2,100名

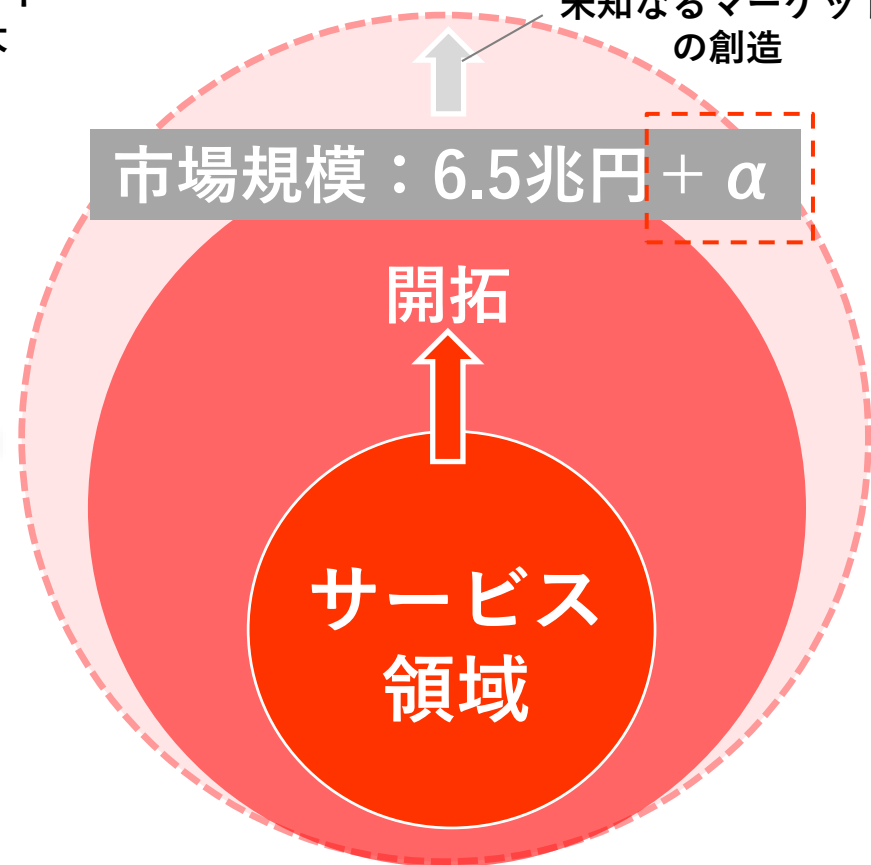
約**26,600**名の稼働人数 ※2020年12月末時点

コロナ禍を背景にアウト
ソーシング市場拡大



+

未知なるマーケット
の創造



ものづくり領域でブランドNo.1へ & サービス領域での事業開拓

不動産セグメントのビジネス領域



現物不動産

デベロップメント

マンション・戸建
事業用地開発

東北圏・首都圏・近畿圏・九州圏で
主要都市に特化し事業展開



レジデンシャル上板橋パークゲート
《東京都》

不動産再生

リノベーション
再開発

全国でリノベーション等の
不動産再生関連事業を展開

Before



After



流通 仲介

プロパティ
マネジメント

不動産 金融

債権回収
アセット
マネジメント



フロービジネス

ストックビジネス

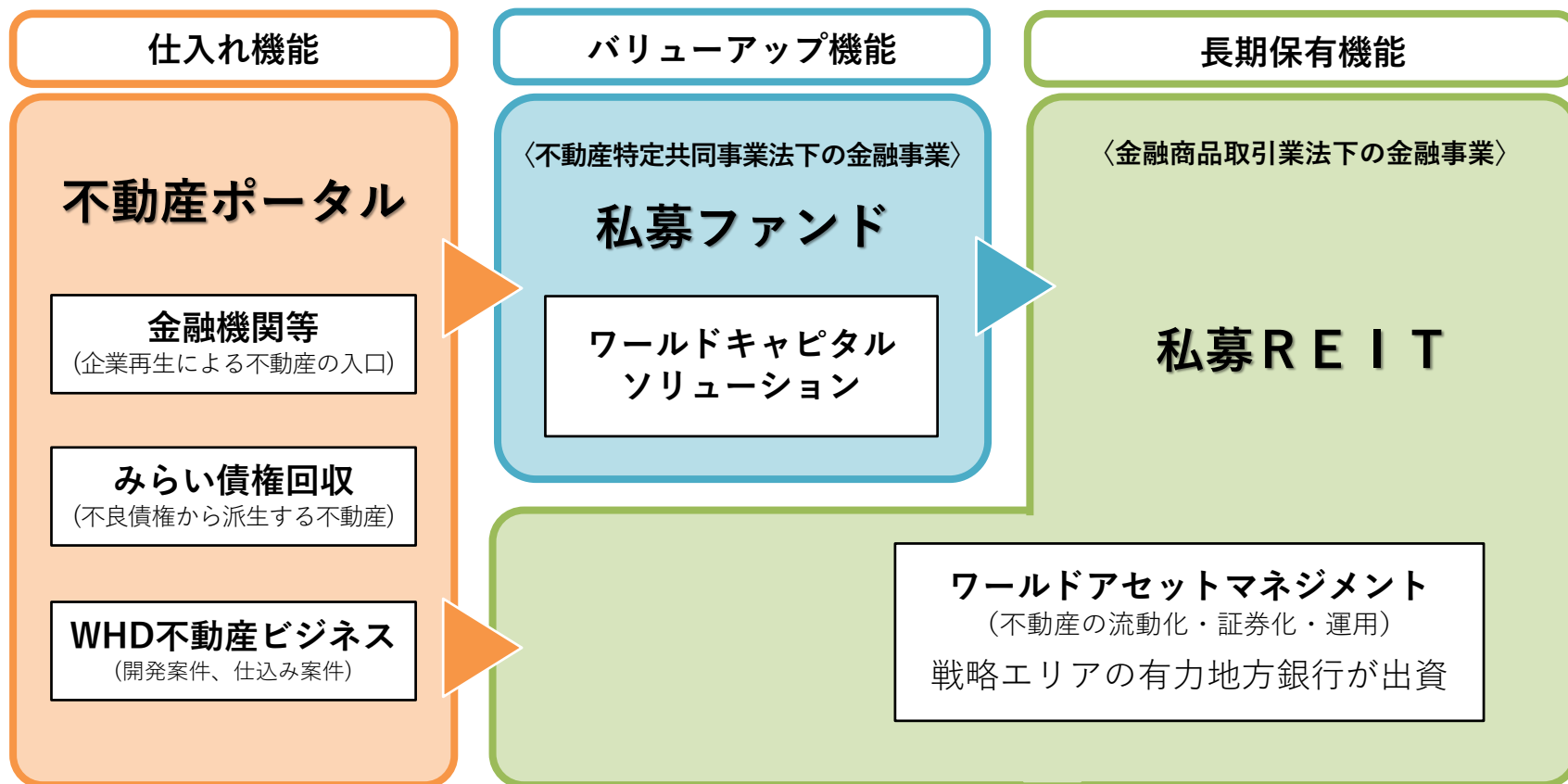
フロービジネスとストックビジネスの融合、ビジネスサイクルの違う領域の融合により安定化

現物不動産の分野では適正規模にて拡大、不動産金融で成長を図る

不動産セグメントの今後の戦略



現物不動産と不動産金融の両面からの機能を有することで
収益物件のオフバランス化（ストックビジネス化）を図り
さらなる安定経営体制を構築



モバイルショップ

九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、長崎県、沖縄県にて展開

- ・ Softbank ショップ
- ・ au ショップ
- ・ Y!モバイル ショップ

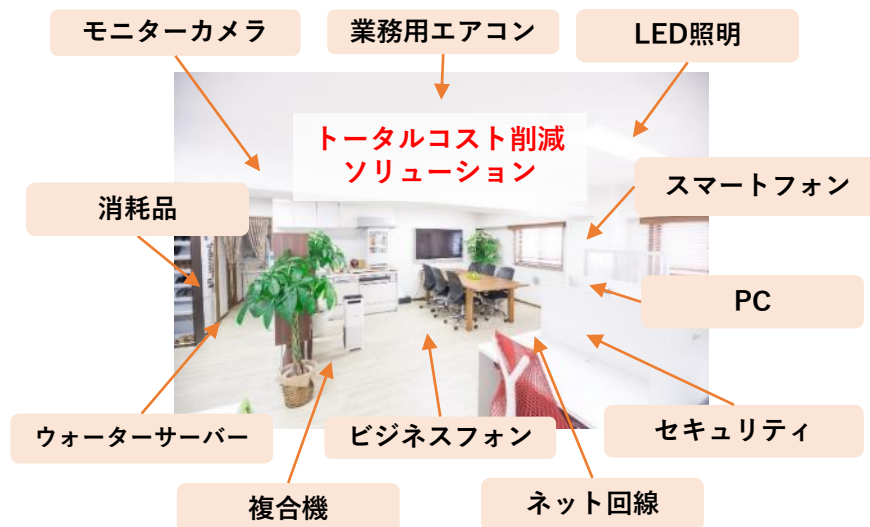
36店舗

2021年6月現在



法人ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、電力、通信費等のコスト削減提案を実施



コールセンター

個人・法人向けに
様々な商材を販売



農業公園等の運営管理

その他



全国 13か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計13か所の運営



自家製のソーセージ菓子、ビールなどの製造・販売も行う

グループシナジー

雇用創出・地方創生

地域に根差した幅広い雇用創出と地域活性化による地方創生

本資料に関するお問い合わせ

人が活きるカタチ



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス

広報IR室 西原 範朗

TEL 03-3433-6005

E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp

URL <https://www.world-hd.co.jp/>